



こんな出来事ありました

コンデキ



01



01 子どもたちの成長を切れ目ない支援で 3/27

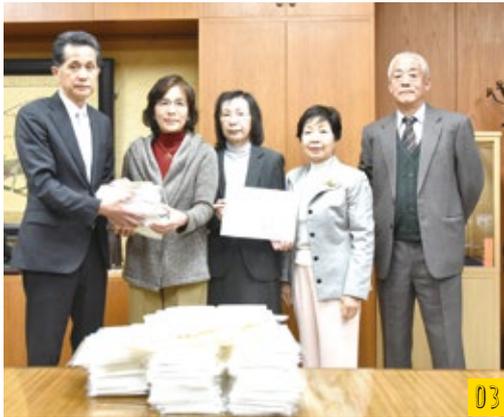
4月1日の笠間市子ども育成支援センターオープンに先立ち、開所式が行われました。

センターでは、成長や発達に気になるお子さんに対して、0歳から18歳までのライフステージに応じた、きめ細かい切れ目ない支援を行っていきます。

普段の生活の中で気になることがあったらご相談ください。

子ども育成支援センター TEL:0296-73-4711

開所式の様子



▲社会福祉協議会ボランティア連絡協議会の皆さん

03 手作りマスクを寄贈いただきました 3/30

笠間市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会の皆さんから、手づくりマスクを300枚寄付していただきました。

マスクはさらしを使って作られていて、子ども用と大人用(Mサイズ・Lサイズ)の3サイズ。「布を切る」「アイロンをかける」「ミシンで縫う」の3つパートに分けて、流れ作業で7時間かけて制作されたそうです。寄贈に訪れた協議会の皆さんは、「ボランティアのみんなで一生懸命、心をこめて作ったので、喜んでもらえたらうれしい。制作は今後も続けていきます」と話されました。マスクは保育施設などに配布し活用させていただいています。



▲マスクを受け取る友部小児童クラブの職員

02

マスク提供のご協力に感謝

新型コロナウイルス感染症の影響によるマスク不足にともない市内企業等に協力依頼を呼び掛けたところ、役立てていただければと、マスクをご提供いただきました。ご提供いただいたマスクは、市内17か所の児童クラブの指導員および公民館に開設した自主学习室の学習支援員用として配布させていただきました。

■ご協力いただいた企業

- ・イチカワ株式会社岩間工場
- ・キヤノン化成株式会社 岩間事業所
- ・シダックス大新東ヒューマンサービス 株式会社
- ・不二製油株式会社関東工場
- ・有限会社 友部流通

※了解いただいた企業のみ掲載しています。





左から、福田理事長、山口市長

笠間青年会議所と 災害時 支援活動協定を締結 **3/30**

地震や水害など大規模災害が発生した際に、被災者支援活動を効果的かつ効果的に行うため、(一財)笠間青年会議所と「災害時における支援活動に関する協定」を締結し、調印式を行いました。

締結式に臨んだ、笠間青年会議所の福田理事長は「災害時の支援活動は迅速に行うことが重要であると考えています。被災者の生活の早期安定に向けて協力していきたい。」と話されました。



イベントでふるさと納税をPRする
市民活動課の職員

ありがとう。 ふるさと納税1億円突破 **05**

全国的に注目度が増している「ふるさと納税」。

令和元年度、平成20年度開始以来初めて、約7,000名の方から「1億円」を超す、ふるさと納税をしていただきました。

市では、ふるさと納税をしてくれた方へ、笠間の魅力ある名産品をお礼の品としてお届けしています。出品希望の方は市民活動課までご連絡ください。



大和情報サービス(株)
鹿野課長 (写真左)

ポケットティッシュを いただきました **3/23**

アクロスプラザ笠間テナント会から、ポケットティッシュ 928 個が笠間市子育て世代包括支援センターみらいに寄贈されました。ティッシュは、アクロスプラザ笠間が開設 12 周年の感謝祭で提供し保管していたもので、寄贈に訪れたアクロスプラザを管理する大和情報サービス(株)の鹿野課長は「新型コロナウイルスの感染予防支援の一つとして、子育て支援に使っていただけたら」と話されました。いただいたティッシュは、有効に使わせていただきます。



第28分団の皆さん

08 地域防災を担う消防団、 第28分団に新たな拠点 **3/29**

笠間市消防団第28分団 新詰所貸与式が行われました。

老朽化に伴い建て替えられ、今後新たな地域防災の活動拠点として活用いただきます。

貸与を受けた、第28分団長の橘陽平さんは、「新たな詰所を拠点に、地域の皆さんの安心安全をこれからも守っていきたい。」と謝辞を述べました。



左から山口市長、常陽銀行友部支店長 小松崎さん、今泉教育長

子どもたちが安心して過ごせるように **07**

常陽銀行から、市内の小学一年生のみなさんへ、防犯ブザー 590個が寄贈されました。

地域貢献活動の一環として毎年行われているこの寄贈は、「子どもたちが安心して過ごせるように」という思いが込められており、今年で16回目となります。子どもたちを地域のみんなで見守りながら、安心して生活できるまちにしましょう。

4/1